



業者が立地するなど企業誘致が着実に進んだほか、復興公営住宅への入居開始、役場新庁舎の開庁、さらには本年3月31日の山木屋地区の避難指示解除が決定されるなど、町全体

で復興の歩みを実感し、町の発展へ向けた大きな一步を踏み出した年でありました。

また、保育園、幼稚園の保育料は「第二子半額、第三子無料」の多子軽減制度などを継続し、昨年4月から、新たに学校給食費の半額負担や結婚祝金の支給、3年保育の開始など、子育て支援のための取り組みを拡充した年がありました。

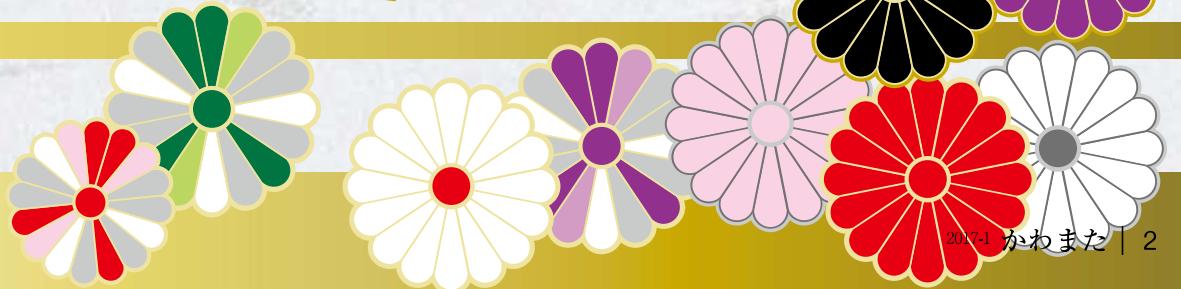
りと展開しながら、本年も全身全霊で責務を全うし、「進化するかわまた」のまちづくりに取り組んでまいりますので、皆様の変わらぬご理解とご協力をお願い申し上げます。

年頭にあたり、本年が町民皆様にとって、健康で明るく、希望に満ちた年になりますようお祈り申し上げます。はじめに、私事ではありますが、一昨年12月から昨年5月まで病氣療養のため公務を離れ、町民皆様には大変なご心配とご迷惑をおかけしましたことを心よりおわび申し上げます。

さて、昨年は、羽田産業団地や西部工業団地の完成に伴い、新たな事業と・しごと創生総合戦略」をしつかります。引き続き、「川俣町まち・ひ

川俣町長 古川 道郎

# あいさつ



あけましておめでとうございます。

年のはじめに、町民皆さんのが健勝とそれぞれの思いが成

就されますよう願いますとともに、

川俣町のさらなる進展をお祈り申し

上げます。

昨年は記憶に残る事が多くありました。4月の熊本、11月の福島沖の大震。6月の千葉、9月の長雨、ふくしま駅伝町の部の7位入賞、ふくしま産業賞最高位の県知事賞を鶴沢の企業が受賞しました。この受賞は絹の町川俣千年の歴史上に輝く栄冠であり、皆さんのご努力に感謝申し上げます。

また、年末には京都にある繊維企業が西部工業団地第1号誘致企業となりました。

さて、あの未曾有の原発事故から5年7か月に当たる昨年10月24日避難指示解除に関する合意式が行われ、今年3月31日をもって山木屋地区の避難解除が正式に決定いたしました。議会として長い時間をかけて国、県へ要望活動を行い、困難な諸課題を協議し今日に至っています。

帰還は新たな出発です。完全復興に向か、今後さらに議論し行動してまいります。

新しい年を迎えるにあたり、新年度業務開始2か月目に入ります。職員の皆さん

の落ち着いた姿、明るい声を聞くとき、きっと町民皆さんの期待に答えることができる確信いたしました。

陽光が届く明るい庁舎へ気軽に足を運んでいただきたいと思います。

議会は定例議会、臨時議会において議案等を採決します。また、その都度町政では達成できない問題は

なり協定締結式が行われました。こ

のことは町の進展に大きく寄与することでしょう。

さて、あの未曾有の原発事故から5年7か月に当たる昨年10月24日避難指示解除に関する合意式が行われ、今年3月31日をもって山木屋地区の避難解除が正式に決定いたしました。議会として長い時間をかけて国、県へ要望活動を行い、困難な諸課題を協議し今日に至っています。

結びに、子どもたちの元気な声が聞こえる活気にみちた町づくりのため一翼をなし、声なき声を大切に邁進して行くことを心願し挨拶とします。

川俣町議会議長 斎藤 博美

2017年酉年  
新年のご

